

# すなやま支援員

## VOL.71

## だより



令和6年 3月 発行

発行者:砂山地域集落支援員 阿部久美子

拠点施設:ぎよぎよかい めでたや

住所:塩谷1181 電話・告知端末:62-7273

### 買い物支援を考える



買い物弱者が生ずる原因として、地元小売店の廃業・閉店や住民の高齢化による免許返納、定期バス路線等公共機関の減少など、いくつかの要因が重なり合って、手軽に買い物できる場所を失い、日々の生活を支える食料品の買い物さえ苦勞することが、農林水産省の調査で明らかにされています。

今現在、車で買い物に行ける人や同居している家族がいる人には、ピンとこない話かもしれませんが、もし自分に明日から車に乗れない・車がない生活がやってくるとしたら?かかりつけのお医者さんに診てもらったり、欲しいものや必要なものが、すぐ手に入らなかったりして、きっと途方に暮れてしまうのではないのでしょうか?



### SkyHub®Delivery

(買物代行サービス)

SkyHub®アプリで買物した地域の商店やスーパーなどの商品が、希望日時に自宅に届く買物代行・配達代行サービスです。料金は、配送料500円(税込)とサービス料(商品代金合計の10%)。正午までの注文で当日中のお届けが可能となっています。

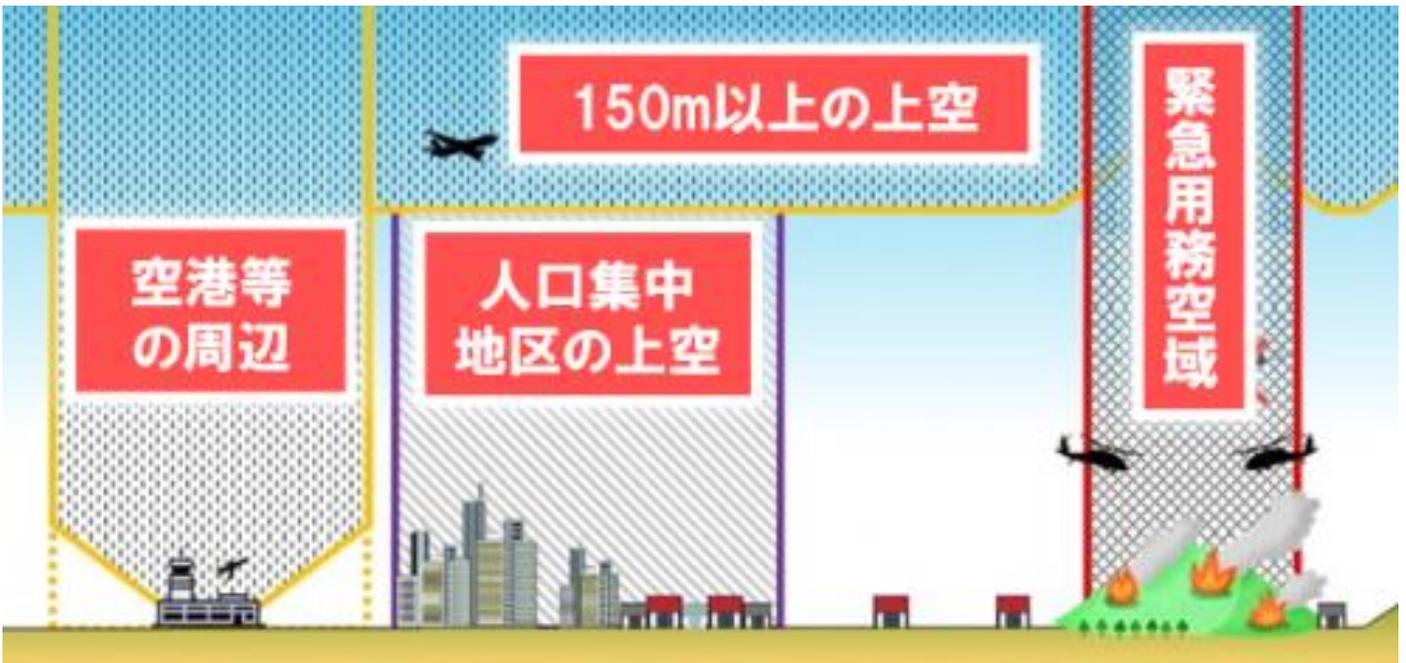
他の地域で問題解消につながる成功例はないか探している中、阿賀町で、小型無人機(ドローン)配送と陸上運送を組み合わせた取り組みの運用実験を目にしました。

阿賀町は阿賀野川の最上流にある山間の町で、人口は9,355人(R6.2.29現在)、面積は952.89㎡。ドローン配送には山梨県に本社があるエアロネクストが株式会社ACSLと共同開発した物流専用ドローンを使い、SkyHub®Delivery(買物代行)とSkyHub®Eats(フードデリバリー)と合わせて、地域住民を対象とした新スマート物流SkyHub®のサービス運用を開始したとのこと。

対して神林地区の人口は7,807人(R6.3.1現在)、面積は82.18㎡。阿賀町ほど山間部ではないけど、松林も山もあるし海も川もある。旧平林小学校の校舎をドローンの会社が利活用している話は聞いていたし、山梨まで行かなくても、地元にあるもので運用できるのではないかと、運用の仕組みさえ出来上がっていたら、災害時の交通インフラが寸断された時にも活用できるのでは?と思い、『DWSドローンスクール新潟村上』のスクール代表・インストラクターの“河内 仁”さんにお話を伺ってきました。



## 無人航空機(ドローン等)の飛行の許可が必要となる空域



国土交通省 HP 参照

ドローンを飛ばすには、様々な決まりがあり、風速などの気象条件に左右されることも。集落などの人口集中地域に配達したいのだけど、神林地区では無理なのかお伺いしたところ、村上市での飛行禁止区域は村上前周辺のみとのこと。ドローンが発着するのに必要な広さはコンビニの駐車場ほどで OK。遠隔でも操作でき、GPS とコンピューターのプログラミングでほぼ正確に、目的の場所まで運ぶことが出来ると聞き、改めて実現出来たらいいなと思いました。

小さいものでよければ実際に飛ばす体験もできますと言われ、試しに操縦させて頂きました。



ブーンという虫の羽音のような音で飛ぶドローン



代表の河内さん



体育館での操縦は風に左右されず、安心して練習できる

音は思っていたよりも静かで、ラジコンのコントローラーのようなもので上下左右に操作するのですが、理屈はわかって、思いどおりには行かず、安定して飛ばすには、練習が必要なこともわかりました。ドローンの配達だけで、商業ベースに乗せるのは厳しいとのことのお話もあり、許可の申請や運転士の確保、配達前後の人員など、まだまだ考えなければいけないことは多いですが、近い将来、実現出来そうでわくわくした気持ちになりました。